

会 議 録

平成19年8月10日調製

| | | | |
|-------|---|-----|----|
| 審議会等名 | 平成19年度 第1回三条市文化財保護審議会 | | |
| 公開の別 | 全部公開 | | |
| 開催日時 | 平成19年7月26日(木) 午後1時30分～3時30分 | | |
| 開催場所 | 三条市役所栄庁舎 201会議室 | 傍聴者 | なし |
| 出席者 | 審議会委員 荒木会長、渡辺副会長、五十嵐委員、金子委員、関委員、高橋委員、長谷川委員、松井委員、六原委員、若槻委員 事務局 金子課長、藤井副参事、田村主査、武田主任、勝山主事 | | |
| 欠席者 | 岡村委員 | | |
| 議題 | (1) 会長、副会長選出 (2) 上保内・矢川家文書の三条市指定文化財の指定について (3) 平成18年度文化財関係事業報告について (4) 平成19年度文化財関係事業計画について (5) 文化遺産リストについて (6) その他 | | |
| | 1 生涯学習課長 開会のあいさつ (会長選出まで事務局による進行) | | |
| | 2 自己紹介 | | |
| | 3 議題 | | |
| | (1) 会長、副会長選出 (委員の互選により、会長に荒木委員、副会長に渡辺委員が選出される) | | |
| | (2) 上保内・矢川家文書の三条市指定文化財の指定について | | |
| 荒木会長 | 事務局より説明願いたい。 | | |
| 事務局 | (資料により説明) | | |
| 荒木会長 | 調査を担当された関委員より解説願いたい。 | | |
| 関委員 | (資料により解説) | | |
| 荒木会長 | この7点の古文書からすると、当時の庶民でも字を書ける人が大勢いたと考えられる。 | | |
| 荒木会長 | 他に質問、意見があるか。 (質疑、意見なし) | | |
| 荒木会長 | 教育委員会より諮問のあった『上保内・矢川家文書』について、三条市指定文化財に指定することが適当であるとしていいか。 (異議なし) | | |
| 荒木会長 | 異議がないので、『上保内・矢川家文書』について、三条市指定文化財に指定することが適当であると答申する。 | | |

| | |
|-------|--|
| | (3) 平成18年度文化財関係事業報告について |
| 荒木会長 | 事務局より説明願いたい。 |
| 事務局 | (資料により説明) |
| 荒木会長 | 文化財めぐりで見学したのは「国宝源氏物語絵巻展」ではなく、絵巻を復元したもので「よみがえる源氏物語絵巻展」である。見応えのあるすばらしい展示で、参加者から満足していただけたと思う。 |
| 松井委員 | 埋蔵文化財に関する事業がたくさんある。また、平野部ではこれからもまだ多くの遺跡が発見され、調査が出てくることが予想される。その対応として、収蔵庫の確保、埋蔵文化財担当職員の増員などの考えはあるか。 |
| 事務局 | 人員については現状維持で、来年度採用の募集をしている埋蔵文化財専門職員は退職する職員の補充である。収蔵庫については、教員住宅や資料館などに分散して保管していた。そのため、今年度、下田地区に千代が丘保育所が新設されたことに伴い、空いた旧保育所の移管を受け、収蔵庫とすることにしたので、少しは集中して保管できるようになってきている。 |
| 高橋委員 | 文化財めぐりで長岡市・栃尾へご案内した。石川雲蝶の初期の作品と、後期の作品とを見比べることができ、参加者に喜んでいただいた。 |
| 荒木会長 | 遺跡速報展のパンフレットはオールカラーですばらしい。展示を見てすごい出土品があることをはじめて知った。藤ノ木遺跡出土の柱根などの展示品のPRなどを工夫すれば、入場者がもっと増えるのではないか。 小学校の副読本に、三条市の遺跡についても載せている。大人でももっとわかりやすく書いてあるものが欲しいという人もいる。三条の遺跡を概観できるようなわかりやすいパンフレットなどができれば、もっと遺跡に関心を持つ人が増えるのではないかと思う。 |
| 金子委員 | 今年度発掘調査した大谷地の北浦A遺跡の現地説明会では、子供から大人まで大勢の見学があり大変有意義だと思った。このようなことをやってもらおうと、地域の人たちに遺跡の大切さを認識していただけるいい機会になる。これからも続けて欲しい。 |
| 荒木会長 | 準備などが大変だと思うが願いたい。 |
| 渡辺副会長 | 市内の遺跡からは火焰土器は出ないのか。 |
| 事務局 | 火焰土器は縄文時代中期の信濃川沿いの遺跡から出土し、三条市も火焰土器分布圏となっている。長岡市馬高遺跡が典型だが、三条市内でも、同時代の栄地区の吉野屋遺跡、下田地区の長野遺跡などから出土している。 |
| 荒木会長 | 出張トークはどういったところから依頼されるのか。 |
| 事務局 | 主に小学校、あるいは老人会などである。 |
| 荒木会長 | 他に質問、意見があるか。 |
| | (質疑、意見なし) |
| | (4) 平成19年度文化財関係事業計画について |

| | |
|------|---|
| 荒木会長 | 事務局から説明願いたい。 |
| 事務局 | (資料により説明) |
| 関委員 | 信濃川築堤地区遺跡試掘調査が行われるが、須頃島のような地域の遺跡分布はどうか。 |
| 事務局 | 信濃川と中ノ口川に挟まれた地形になっている須頃、大島地区からは今のところ埋蔵文化財は発見されていない。今回調査する箇所は、明治初年の新堤築堤前まで村があった場所で、それ以前にも村があった可能性が高いということで、信濃川堤防築堤に伴い調査を実施する。昨年度の調査では明治の堤防築堤の際に壊されている箇所であったため、遺跡の発見には至っていない。 |
| 六原委員 | 三条神楽、栄神楽は継承、保存活動に補助をしているが、須頃にも神楽があると聞いているが補助しているのか。 その他、下田の八木神社に神楽があると聞く。各地にそれぞれ民俗芸能が残っているのではないかと。 |
| 事務局 | 下須頃には、市指定無形民俗文化財の下須頃獅子舞がある。市指定文化財になっているので補助金を出している。下田地区にも五十嵐神社、八木神社などに神楽があるが、指定文化財になっていないので補助金を出していない。 |
| 六原委員 | 神楽などの民俗芸能は衰退していくので支援してはどうか。 |
| 事務局 | 神楽の場合、神社と一体の祭礼行事なので、それが指定文化財かどうかは行政としての支援の判断になる。三条神楽は県指定、栄神楽は市指定となっており、古い時代から多くの種類の演目が残っている。 |
| 荒木会長 | この事業計画には、年度途中ですでに実施済のものがある。実施済はわかるように目印をつけてもらいたい。 |
| 荒木会長 | 他に質問、意見があるか。 (質疑、意見なし) |
| | (5) 文化遺産リストについて |
| 事務局 | (資料により説明) |
| 関委員 | 提出者によってばらつきがある。あげられるものはあげた地域もあり、他の地域ではあげられていない分野のものもある。例えば俳句額や絵馬など他の地区にもあるのではないかと。すべての地域でリストにあげられるものがないか整備していったほうがいい。 |
| 荒木会長 | 各委員が出したものの再点検が必要だと思う。この程度のものは落とした方がよいというものもあるし、再度検討し追加がある委員もいると思う。 |
| 若槻委員 | 各委員によりリストの候補を作っていただいた。この資料の管理をうまくやらないと、リストに掲載されていることによって盗難などの危惧がある。公表については難しい部分があるので慎重に考えていかないといけない。 |
| 荒木会長 | 最終的にリストは外部に公表しないということと、管理ができるものであるかどうかという点をもう一度考えて取り組んでいかなくてはならない。 |

| | |
|-------|---|
| 渡辺副会長 | 旧三条地区の文化財遺産リストも、こういう中から絞り込まれて載っているのか。 |
| 事務局 | 第1次調査と同じような形である。 |
| 渡辺副会長 | 各委員からでた候補を絞り込んでいくが必要かと思う。どんな方法でやるのか。 |
| 事務局 | 先の第1次調査の結果を踏まえて、また、新たに委員になられた方がいられるので、再度追加が必要なものを8月末までに提出していただく。その後、3、4人の委員から文化遺産リスト作成のための調査作業をお願いし、次回の審議会で文化遺産リスト案を提案できるように進めたい。 |
| 五十嵐委員 | 各自で提出した物件の中でランク分けを行い、上位のものを抽出してはどうか。 |
| 荒木会長 | 五十嵐委員、金子委員は今回初めてなので、追加したい物件があればリストアップしてもらいたい。 |
| 金子委員 | 下田地区名下に旧長谷川邸の石垣がある。いつの築造かわからないが、特殊な積み方で見えない部分もあるが、ほとんど元のまま残っている。 |
| 荒木会長 | 写真を添えて、リストに書いてもらいたい。 |
| 事務局 | 遺産リストの絞り込み作業について、委員の中から3、4人の選出をお願いしたい。 |
| 荒木会長 | できれば、栄、下田、三条の各地区から出ていただきたい。 |
| 事務局 | 三条地区は2人でどうか。 |
| 荒木会長 | 五十嵐委員もお願いしたい。 |
| 五十嵐委員 | まだリストの状況がつかめていないが。 |
| 荒木会長 | 三条地区として私も参加したい。 栄地区は岡村委員の意向を聞いてからになるだろうか |
| 渡辺副会長 | 岡村委員にお願いしてはどうか。 |
| 六原委員 | 岡村委員が適任と思う。 |
| 荒木会長 | 下田地区はどなたがいいか。 |
| 長谷川委員 | 金子委員にお願いしたい。 |
| 金子委員 | 長谷川委員にお願いしたい。 |
| 荒木会長 | 下田地区は、後で二人で話し合っ決めていただきたい。 文化遺産リストを各委員で再整理していただき提出していただく。その後、選出された委員にお願いしてリスト案の作成作業を進めていきたい。 |
| 荒木会長 | 他に質問、意見はあるか。 (質疑、意見なし) |
| | (6) その他 |
| 荒木会長 | 関委員が先ほど配られた資料についてご説明いただきたい。 |
| 関委員 | 先ほどの矢川家文書からわかる保内の江戸時代にかぎった支配変遷の概略についてまとめたものである。上・下保内に分かれているが、特に上保内という同一の |

| | |
|-------|---|
| | 地域集落の中でも、相給という複雑な支配体制を示す資料である。 |
| 五十嵐委員 | 民具に対しての理解があまりないと思う。指定文化財になるかは別として、生活具の取り扱いをきちんとしてもらいたい。以前、三条小学校の空教室に、生活具、農具を展示した。学校の児童に見せて、積極的に活用すべきである。学校から移されたと聞いたが、それらの民具は今どこにあるのか。 |
| 事務局 | 民具は、歴史民俗産業資料館、下田郷資料館や栄民俗資料室で一部展示している。大型のものや多くの民具をテーマごとに展示できる博物館などあればよいが、厚生会館3階や文化財収納倉庫で保管しているのが現状である。 |
| 五十嵐委員 | 栄村誌編纂事業で、栄地区一ツ屋敷の方から家を新築する際に、機織機一式を寄付してもらった。栄公民館に展示してあったが、今どこにあるのか。 |
| 六原委員 | 旧栄町は寄付してもらったものを公民館の舞台裏に置いたが、機織機はなかった。栄民俗資料室には、むしろばた、糸繰の綿きり、座繰りなどはあったが製品にする機械はない。 |
| 五十嵐委員 | 当時、小松先生と行って寄付してもらった。どこかにはあるはず。再調査してもらいたい。いい民具だし説明をつけて展示してもらいたい。 |
| 荒木会長 | 民具の保存というのは切実な問題である。小学校で水汲みの説明をしようと思っても今は水道。実物の水を入れる桶と天秤棒があるといいかなと思う。実際に子供に持たせてみて、桶だけでこんなに重い。水が入るとどんなに重いか、それを天秤棒で担いでいたという話をする時に、口だけでは観念的になるので民具があるといい。 その他、事務局から連絡事項はあるか。 |
| 事務局 | 7月16日の新潟県中越沖地震では、三条市内の指定文化財について、所有者より被害なしと報告をもらっている。 『ふるさと三条』の原稿締め切りが11月30日。集まった原稿を各委員に監修してもらいたい。 |
| 荒木会長 | 他に質問、意見はあるか。 (質疑、意見なし) |
| 荒木会長 | これで閉会とする。 |